



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社 レオパレス21
 コード番号 8848 URL <http://www.leopalace21.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 深山英世
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 宮尾文也 TEL 03-5350-0216
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	258,740	1.4	13,987	23.4	13,827	28.7	9,488	△2.1
29年3月期第2四半期	255,190	1.0	11,337	6.0	10,742	8.1	9,688	15.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 8,365百万円 (183.0%) 29年3月期第2四半期 2,955百万円 (△67.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	36.68	36.66
29年3月期第2四半期	36.85	36.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	324,989	156,151	48.0
29年3月期	337,828	158,870	47.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 155,918百万円 29年3月期 158,713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
30年3月期	—	10.00			
30年3月期（予想）			—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	540,000	3.7	23,500	2.6	22,500	0.6	14,200	△30.4	54.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	263,443,915株	29年3月期	267,443,915株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	11,331,580株	29年3月期	4,569,920株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	258,694,691株	29年3月期2Q	262,874,348株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、本日（平成29年11月10日）、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第2四半期	258,740	13,987	13,827	9,488
前第2四半期	255,190	11,337	10,742	9,688
増減額	3,549	2,649	3,085	△199

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善の動きがみられるなか、緩やかな回復基調で推移いたしました。

貸家の新設着工戸数は、相続税対策としての需要を背景に堅調に推移しておりましたが、6月以降は前年同月比4ヶ月連続して減少し、前年同期比では1.7%の減少となりました。わが国の賃貸住宅市場においては、空家数の増加が続いており、全国的な需要回復が難しいなかで安定した入居率を確保するには、将来的にも高い入居率が見込めるエリアへの重点的な物件供給、付加価値サービスの提供による差別化戦略が求められております。

このような状況のなか、当社グループは、平成29年度から3ヶ年の新中期経営計画「Creative Evolution 2020」を策定いたしました。「企業価値の更なる向上に資するコア事業の継続的成長と成長分野の基盤構築」を基本方針とし、企業価値と新たな社会価値の創造を目指しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,587億40百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業利益は139億87百万円（前年同四半期比23.4%増）、経常利益は138億27百万円（前年同四半期比28.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は94億88百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の報告セグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	前第2四半期	当第2四半期	増減額	前第2四半期	当第2四半期	増減額
賃貸事業	210,159	217,439	7,280	12,512	16,058	3,546
開発事業	35,061	32,024	△3,036	1,479	974	△504
シルバー事業	5,649	6,293	644	△854	△745	108
ホテルリゾート・その他事業	4,320	2,982	△1,338	66	△168	△235
調整額	—	—	—	△1,865	△2,130	△265
合計	255,190	258,740	3,549	11,337	13,987	2,649

① 賃貸事業

賃貸事業においては、入居する部屋を自分好みにアレンジできる「my DIY」、大幅に機能を拡充したインターネットサービス「LEONET」、大手警備保障会社と提携したセキュリティサービスなど豊富な付加価値を提供するとともに、法人の寮社宅需要の取り込み、外国人入居者サポート体制の充実等により、安定した入居率の確保を図っております。また、ASEAN地域において、サービスアパート・オフィスの開発・運営を行っております。

当第2四半期連結会計期間末の入居率は90.21%（前年同四半期末比+1.90ポイント）、期中平均入居率は90.20%（前年同四半期比+1.84ポイント）となりました。

また、当第2四半期連結会計期間末の管理戸数は570千戸（前年度末比2千戸増）、直営店舗数は189店（前年度末比増減なし）、パートナーズ店舗数は117店（前年度末比2店舗減）といたしました。

これらの結果、売上高は2,174億39百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は160億58百万円（前年同四半期比28.3%増）となりました。

② 開発事業

開発事業においては、人口流入が続き、将来的にも高い入居率が見込める三大都市圏に絞った受注活動、高品質かつ最先端の戦略商品投入、競争力強化と入居者イメージの一新を図る新ブランドの展開、理想の土地活用を実現する建築バリエーションの拡大、商品価格や仕入ルートの見直し等による採算性の向上に取り組んでおります。

また、子会社のライフリビング株式会社はマンション等の開発事業、株式会社もりぞうは木曾ひのきを用いた戸建注文住宅の建築請負事業を展開しております。

当第2四半期連結累計期間の総受注高は378億86百万円（前年同四半期比14.5%減）、当第2四半期連結会計期末の受注残高は680億42百万円（前年同四半期末比6.0%減）となりました。

これらの結果、売上高は320億24百万円（前年同四半期比8.7%減）、営業利益は9億74百万円（前年同四半期比34.1%減）となりました。

③ シルバー事業

売上高は62億93百万円（前年同四半期比11.4%増）、営業損失は7億45百万円（前年同四半期比1億8百万円改善）となりました。

④ ホテルリゾート・その他事業

グアムリゾート施設、国内ホテル、ファイナンス事業等のその他事業は、売上高は29億82百万円（前年同四半期比31.0%減）、営業損失は1億68百万円（前年同四半期は営業利益66百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	総資産	負債	純資産
当第2四半期末	324,989	168,837	156,151
前連結会計年度末	337,828	178,958	158,870
増減額	△12,839	△10,121	△2,718

当第2四半期連結会計期末の総資産は、前連結会計年度末比128億39百万円減少の3,249億89百万円となりました。これは主に、販売用不動産が26億17百万円、繰延税金資産が37億32百万円、リース資産（純額）が25億29百万円、建設仮勘定が20億84百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が85億47百万円、建物及び構築物（純額）が24億16百万円、土地が103億69百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債の合計は、前連結会計年度末比101億21百万円減少の1,688億37百万円となりました。これは主に、リース債務が28億8百万円増加した一方、前受金及び長期前受金が45億43百万円、工事未払金が37億63百万円、借入金及び社債が25億81百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産の合計は、前連結会計年度末比27億18百万円減少の1,561億51百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益94億88百万円を計上したものの、配当金の支払が31億54百万円、自己株式の取得が80億円、為替換算調整勘定の減少が17億86百万円あったことによるものであります。なお、自己資本比率は前連結会計年度末比1.0ポイント上昇し48.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、80億3百万円の収入(前年同四半期比38億39百万円の収入増加)となりました。これは主に、販売用不動産の増加額が35億47百万円、仕入債務の減少額が47億95百万円、前受金の減少額が45億42百万円となった一方、税金等調整前四半期純利益が63億19百万円、減価償却費が55億51百万円、減損損失が74億17百万円となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億86百万円の収入(前年同四半期は33億97百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が32億73百万円あった一方、有形固定資産の売却による収入が46億16百万円あったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、160億37百万円の支出(前年同四半期比89億35百万円の支出増加)となりました。これは主に、有利子負債の返済が48億79百万円(借入による収入差引後)、自己株式の取得が80億円、配当金の支払が31億54百万円あったことによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は836億68百万円となり、前第2四半期連結会計期間末比40億17百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	104,432	95,885
売掛金	6,547	5,746
完成工事未収入金	2,355	1,913
営業貸付金	675	496
販売用不動産	421	3,039
仕掛販売用不動産	1,849	2,779
未成工事支出金	518	399
前払費用	2,827	3,136
繰延税金資産	8,636	12,424
その他	5,707	4,767
貸倒引当金	△186	△163
流動資産合計	133,786	130,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,827	39,411
機械装置及び運搬具(純額)	14,206	13,324
土地	80,388	70,019
リース資産(純額)	13,652	16,181
建設仮勘定	3,911	5,996
その他(純額)	1,281	1,357
有形固定資産合計	155,267	146,291
無形固定資産		
のれん	3,181	2,923
その他	8,461	7,679
無形固定資産合計	11,642	10,602
投資その他の資産		
投資有価証券	12,453	13,003
固定化営業債権	1,246	1,267
長期前払費用	3,820	3,872
繰延税金資産	17,486	17,430
その他	3,645	3,710
貸倒引当金	△2,073	△2,113
投資その他の資産合計	36,579	37,171
固定資産合計	203,489	194,066
繰延資産	552	496
資産合計	337,828	324,989

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,826	3,446
工事未払金	12,186	8,423
短期借入金	1,263	1,277
1年内償還予定の社債	3,966	3,966
リース債務	4,647	5,687
未払金	19,066	15,867
未払法人税等	2,544	879
前受金	40,003	37,117
未成工事受入金	5,381	5,390
賞与引当金	-	3,006
完成工事補償引当金	412	390
保証履行引当金	1,082	1,056
その他	4,144	3,676
流動負債合計	97,524	90,185
固定負債		
社債	16,035	14,052
長期借入金	13,267	12,655
リース債務	10,739	12,507
長期前受金	16,614	14,957
長期預り敷金保証金	7,152	7,029
繰延税金負債	148	148
役員賞与引当金	-	11
空室損失引当金	3,183	2,588
退職給付に係る負債	11,295	11,781
その他	2,997	2,919
固定負債合計	81,433	78,651
負債合計	178,958	168,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	75,282	75,282
資本剰余金	45,235	45,235
利益剰余金	39,923	43,187
自己株式	△3,660	△8,592
株主資本合計	156,779	155,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	574	938
為替換算調整勘定	2,027	241
退職給付に係る調整累計額	△668	△374
その他の包括利益累計額合計	1,933	805
新株予約権	136	210
非支配株主持分	20	22
純資産合計	158,870	156,151
負債純資産合計	337,828	324,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	255,190	258,740
売上原価	209,567	209,315
売上総利益	45,623	49,424
販売費及び一般管理費	34,285	35,437
営業利益	11,337	13,987
営業外収益		
受取利息	20	52
受取配当金	49	79
投資有価証券評価益	132	115
為替差益	-	53
その他	59	90
営業外収益合計	261	391
営業外費用		
支払利息	361	384
為替差損	271	-
社債発行費	63	108
その他	161	58
営業外費用合計	857	551
経常利益	10,742	13,827
特別利益		
固定資産売却益	828	26
特別利益合計	828	26
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	81	47
減損損失	9	7,417
契約解除損失	-	69
特別損失合計	94	7,535
税金等調整前四半期純利益	11,476	6,319
法人税等	1,797	△3,174
四半期純利益	9,678	9,493
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,688	9,488

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	9,678	9,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	363
為替換算調整勘定	△6,799	△1,787
退職給付に係る調整額	181	294
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	0
その他の包括利益合計	△6,722	△1,127
四半期包括利益	2,955	8,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,965	8,360
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,476	6,319
減価償却費	4,630	5,551
減損損失	9	7,417
のれん償却額	170	257
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△40
空室損失引当金の増減額(△は減少)	△545	△594
受取利息及び受取配当金	△70	△131
支払利息	361	384
為替差損益(△は益)	271	△53
持分法による投資損益(△は益)	3	1
有形固定資産売却損益(△は益)	△825	△26
有形固定資産除却損	81	47
投資有価証券評価損益(△は益)	△132	△115
売上債権の増減額(△は増加)	1,398	1,563
販売用不動産の増減額(△は増加)	△277	△3,547
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△207	119
長期前払費用の増減額(△は増加)	242	169
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,625	△4,795
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,257	8
前受金の増減額(△は減少)	△6,447	△4,542
預り保証金の増減額(△は減少)	△218	△150
未払消費税等の増減額(△は減少)	△797	273
その他	764	1,737
小計	6,506	9,851
利息及び配当金の受取額	206	273
利息の支払額	△341	△368
法人税等の支払額	△2,206	△1,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,164	8,003
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,170	△3,273
有形固定資産の売却による収入	16,373	4,616
無形固定資産の取得による支出	△417	△377
投資有価証券の取得による支出	△1,461	△132
投資有価証券の売却による収入	8	17
子会社株式の取得による支出	△5,360	-
貸付けによる支出	△17	△5
貸付金の回収による収入	10	6
定期預金の預入による支出	△10,053	-
定期預金の払戻による収入	100	-
その他	△411	△664
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,397	186

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	1,150
短期借入金の返済による支出	△265	△1,152
長期借入れによる収入	459	-
長期借入金の返済による支出	△872	△588
社債の償還による支出	△2,343	△1,983
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,405	△2,306
自己株式の取得による支出	△0	△8,000
配当金の支払額	△2,674	△3,154
非支配株主への配当金の支払額	-	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,101	△16,037
現金及び現金同等物に係る換算差額	△841	△251
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,175	△8,098
現金及び現金同等物の期首残高	86,826	91,766
現金及び現金同等物の四半期末残高	79,650	83,668

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式10,761,400株を取得したため、当第2四半期連結累計期間において自己株式が7,999百万円増加いたしました。

また、同日開催の取締役会決議に基づき、平成29年6月15日付で、自己株式4,000,000株の消却を実施したため、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ3,068百万円減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が3,068百万円減少、自己株式が4,931百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が43,187百万円、自己株式が8,592百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	賃貸事業	開発事業	シルバー事業	ホテルリゾート ・その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	210,159	35,061	5,649	4,320	255,190	-	255,190
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	259	-	1,733	2,009	△2,009	-
計	210,175	35,321	5,649	6,054	257,200	△2,009	255,190
セグメント利益又は損失(△)	12,512	1,479	△854	66	13,203	△1,865	11,337

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,865百万円には、セグメント間取引消去△91百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,774百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	賃貸事業	開発事業	シルバー事業	ホテルリゾート ・その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	217,439	32,024	6,293	2,982	258,740	-	258,740
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	65	-	1,841	1,941	△1,941	-
計	217,474	32,089	6,293	4,823	260,682	△1,941	258,740
セグメント利益又は損失(△)	16,058	974	△745	△168	16,118	△2,130	13,987

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,130百万円には、セグメント間取引消去△129百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,001百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「賃貸事業」、「建築請負事業」、「シルバー事業」及び「ホテルリゾート関連事業」の4区分から、「賃貸事業」、「開発事業」、「シルバー事業」及び「ホテルリゾート・その他事業」の4区分に変更しております。この変更は、新中期経営計画の策定を契機として、当社グループの事業領域を再整理した結果、事業セグメントを変更したことに伴うものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の報告セグメント区分により作成したものを記載しております。